

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	5102	(H.26)No.	5102
-----------	------	-----------	------

事務事業名	文化財保護費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	503501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	文化財保護費
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	文化財保護費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	2	文化資源
	小 施策	1	文化財の保護・調査研究
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
新たな文化財指定や、指定文化財の維持管理を行っています。指定文化財を良好な形で後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図ります。
事業内容
市域に存在し、地域を理解するうえで特に重要な文化財の保護業務で、文化財調査会の開催、市指定文化財の修復補助、文化財指定看板の設置、史跡の草刈り等を行っています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費
	報償費 30千円 需用費(文化財指定解説看板修理) 43千円 委託料(文化財調査・史跡草刈り) 1,182千円 使用料 773千円 負担金(全国史跡整備市町村協議会東海地区協議会) 50千円	報酬 154千円 報償費 30千円 旅 費 27千円 需用費 130千円 委託料 1,188千円 使用料 483千円 負担金 50千円

H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	2,078千円	2,062千円	2,120千円	2,120千円	2,120千円
内訳(千円)					
国・県支出金	42				
地方債					
その他(繰入金)	1,480				
一般財源	(0) 556	2,062	2,120	2,120	2,120
人工数					
職員	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
①+②総事業費	(0千円) 3,578千円	3,562千円	3,620千円	3,620千円	3,620千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
文化財の保護や史跡の景観保全の適切な管理に努めました。限られた予算の中で、管理保全にかかる経費の確保について検討が必要となっています。	文化財の保護とその活用について、地域づくり組織と連携を図りながら推進する必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	登録文化財の指定に努めるとともに、自然環境の保全など、貴重な歴史、文化資源を後世に継承するための取組を進めました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	身近な史跡、文化財を地域資源として活用を図るため標示版の設置やウォーキングコースの開発など地域づくり組織と協働して進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	引き続き、地域と連携して事業を推進します。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

--